

平成25年行政事業レビューシート

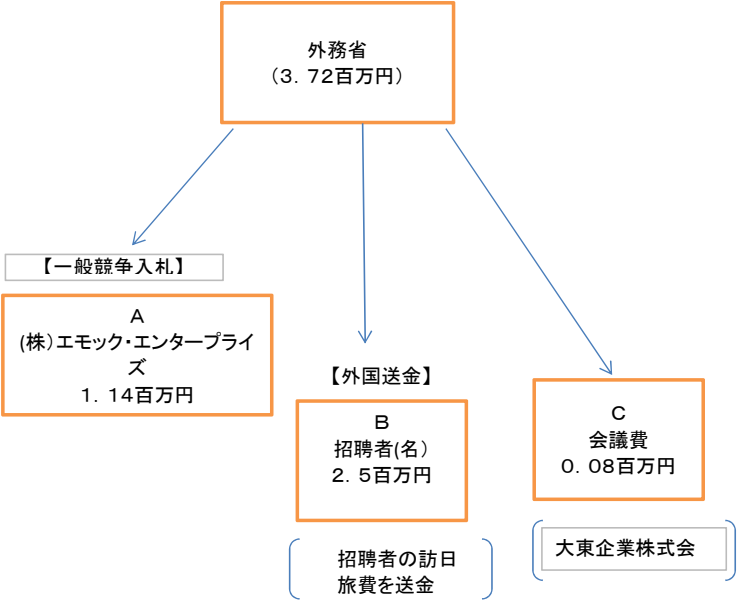
(外務省)

事業名	鯨類の持続可能な利用に関するセミナー	担当部署	経済局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度開始	担当課室	漁業室	室長 梅澤 彰馬				
会計区分	一般会計	政策・施策名	Ⅱ-2-4 経済安全保障の強化					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項 外務省組織令第六十八条第一項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界的に反捕鯨国・NGOによる反捕鯨キャンペーンが強まる中、IWCにおいて我が国と同じく捕鯨の持続可能な利用を指示する国々を我が国に招聘し、我が国の立場を説明し、これに対する理解や指示を求めると共に、参加国との間で意見交換、情報交換を通じ、緊密な連携を確実なものとする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成25年1月29～30日に東京にて開催。アジア、アフリカ、東カリブ及び欧州地域から鯨類の持続可能な利用を支持する国(我が国を含め16カ国)が参加し、IWCにおける現状(昨年年次会合から閉会期間中の作業部会における議論等)に関する意見交換、今後のIWC年次会合における議論の見通し、我が国が南極海で行っている調査捕鯨及び同調査に対するNGOによる妨害行為への対応等に関する情報提供及び意見交換を行った。この結果、参加国間で現状認識や互いの考え方を共有することができた。参加国からは引き続き我が国の立場を支持する旨の表明がなされた。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	7	5	5	3		
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	7	5	5	3		
	執行額		5	1	4			
	執行率(%)		71.86%	16.98%	77.72%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	鯨類の持続可能な利用支持国に対して、捕鯨問題に関する我が国の立場の理解を深める。結果として、IWC年次会合への利用支持国の出席率を高めることを目的とする。成果実績はIWC会合鯨類の利用支持国の参加国数。(25年度より、年次会合は隔年開催となった。)		成果実績	国数	35	22	29	38
			達成度	%	89	56	76%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	鯨類の持続可能な利用支持国に対して、捕鯨問題に関する我が国の立場について理解を深め、支持を得るための参加国コミッショナーレベルでのセミナー開催(年1回)。		活動実績 (当初見込み)		1	1	1	1
					()	()	()	
単位当たりコスト	3,720(千円/1回)		算出根拠	年1回実施したセミナー開催に要した経費を基に算出				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	旅費	3						
	計	3						

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	IWCにおいて我が国と立場を同じくする国々との間で、鯨類の持続可能な利用について認識を共有することは、今後のIWCの正常化に向け極めて重要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	IWCにおいて我が国と立場を同じくする国々の内、各地域(アジア・欧州・アフリカ・カリブ)から現地におけるプロフィールの高さ等を考慮した上で招へい国を選定している。また、本国予算で訪日することが可能と思われる国については、自己負担による参加を求めた。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本件セミナーを通じ、立場を同じくする国との連携強化を図り、IWC年次会合における共同歩調に繋がっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	鯨類の持続可能な利用支持国との協議については、本件セミナーの開催のみならず、我が国政府ミッションの派遣等、招聘以外の手段を用いると共に、招聘のタイミングや招聘者の選定等、予算的にも無駄なく効果的なセミナーが実施できるよう引き続き努める。25年度よりIWCの年次総会が隔年開催となったことから、我が国と立場を同じとする諸国との連携強化の必要性は高まっており、本件セミナーの意義は極めて大きい。引き続き取り組む。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	528	平成23年	511	平成24年	259

個別事業名:

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

個別事業名：

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	会議開催経費(会場借料・必用人員・宿舍等手配)	1.14			
	計		1	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	招聘者の航空賃	2.50			
	計		3	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名：

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エモック・エンタープライズ	会議運営業務等	1.14	2	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	招聘者A	航空賃等	0.62		
2	招聘者B	航空賃等	0.59		
3	招聘者C	航空賃等	0.56		
4	招聘者D	航空賃等	0.52		
5	招聘者E	航空賃等	0.15		
6	招聘者F	航空賃等	0.14		
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大東企業株式会社	会議費	0.08		
2					
3					
4					